

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】令和4年2月16日(2022.2.16)

【公開番号】特開2019-183371(P2019-183371A)
 【公開日】令和1年10月24日(2019.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報2019-043
 【出願番号】特願2019-62754(P2019-62754)
 【国際特許分類】

D 2 1 B 1/14(2006.01)

D 2 1 D 1/20(2006.01)

【F I】

D 2 1 B 1/14

D 2 1 D 1/20

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月7日(2022.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

裏側から表側を分離した基板であって、

前記表側と、

辺長と、

前記辺長の第1の端部に配設された、内弧と、

前記辺長の第2の端部に配設され、前記辺長に沿って前記内弧から径方向遠位に位置された、外弧と、

前記辺長に沿って前記内弧と前記外弧との間に延びる、第1の側辺と、

前記辺長に沿って前記内弧と前記外弧との間に延び、前記第1の側辺から遠位に配設された、第2の側辺と、

厚さに沿って表側から反対に配設された前記裏側とを備え、前記裏側と前記表側は、前記外弧、前記内弧、前記第1の側辺、および前記第2の側辺の間に延びる、基板と、

前記基板から延びる歯群であって、

径方向の空隙に配設された列に配置され、

前記基板上の領域を占有し、前記歯群における歯は、

歯の高さと、

壁と、

隣接する壁の交差部における縁部と

を備え、

前記領域は分散セクションを画定する、歯群と、

前記基板から延びる精練バーであって、隣接する精練バーおよび前記基板は、前記隣接する精練バーの間に溝を画定し、それによって前記精練バーは、精練バーおよび溝が交互となる精練セクションを画定し、移行バーは、径方向に最も外側の歯と前記精練セクションとの間に配設され、前記精練セクションは、前記分散セクションよりも前記辺長の前記第2の端部に近く配設され、精練バーおよび溝が交互となる前記領域の精練バーは精練バーの高さを有し、前記歯の高さは前記精練バーの高さを越える、精練バーと

を備える、分散-精練のプレートセグメント。

を備える、分散-精練のプレートセグメント。

を備える、分散-精練のプレートセグメント。

20

30

40

50

【請求項 2】

前記分散セクションと前記精練セクションとの間に配設されたデフレクタをさらに備える、請求項 1 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 3】

前記歯が、凹形状を形成する複数の先端壁を含む先端側をさらに備える、請求項 1 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 4】

前記歯群が、前記精練バーよりも少なくとも 50% 高い、請求項 1 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 5】

前記歯群が、前記精練バーよりも少なくとも 100% 高い、請求項 1 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 6】

前記歯が、立方体、細長い矩形プリズム、台形プリズム、三角形プリズム、角錐、切頭角錐、および五角形プリズム、からなる群から選択される形状を有する、請求項 1 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 7】

基板と、

前記基板から延びる歯群であって、径方向の空隙に配設された列に配置され、前記歯群における歯は、歯の高さ、壁、および隣接する壁の交差部における縁部を有し、前記基板上の領域を占有し、前記領域は分散セクションを画定する、歯群と、

前記基板から延びる精練バーであって、隣接する精練バーおよび前記基板は、前記隣接する精練バーの間に溝を画定し、それによって前記精練バーは、精練バーおよび溝が交互となる精練セクションを画定し、前記精練セクションは前記分散セクションから遠位に配設され、前記精練バーは精練バーの高さを有し、前記歯の高さは前記精練バーの高さを越える、精練バーと、

前記分散セクションと前記精練セクションとの間に配設されたデフレクタと、
を備える、分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 8】

径方向に最も外側の歯と前記精練セクションとの間に配設された移行バーをさらに備える、請求項 7 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 9】

前記歯群が、前記精練バーよりも少なくとも 50% 高い、請求項 7 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 10】

前記歯群が、前記精練バーよりも少なくとも 100% 高い、請求項 7 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 11】

前記歯が、立方体、細長い矩形プリズム、台形プリズム、三角形プリズム、角錐、切頭角錐、五角形プリズム、または他の多面体からなる群から選択される形状を有する、請求項 7 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

【請求項 12】

前記歯が、凹形状を形成する複数の先端壁を含む先端側をさらに備える、請求項 7 に記載の分散 - 精練のプレートセグメント。

10

20

30

40